

公開シンポジウム「マイクロ統計の利用と統計教育－国際比較の視点から－」

1. 主催：日本学術会議社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会合同国民目線による統計調査・意識調査の方向性の検討分科会

2. 日時：2013年4月19日（金）13:00～17:00

3. 場所：日本学術会議会議室6階会議室

4. 開催趣旨

当分科会の活動の成果（アウトプット）を広く社会に還元するため、マイクロ統計データの利用と統計教育に関する公開セミナーを2013年4月19日に開催いたします。

統計調査・意識調査を継続・拡充することの社会的意義の重要性、統計調査データの学校教育（特に小中学校教育）における利用の奨励、さらに、社会の現実と変化を知り、社会の課題を解決するための手段としての統計の利用を図るため、統計学を高等教育のカリキュラムに必修科目として組み込むことなどについて、取り上げます。

5. 次第

司 会 樋口美雄（日本学術会議第一部会員、慶應義塾大学商学部教授）

問題提起 野口晃弘（日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院経済学研究科教授）

報告①「政府マイクロ統計データの公開と利用」

廣松 毅（日本学術会議特任連携会員、情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科教授）

報告②「公的助成によるマイクロ調査データの公開と利用」

前田幸男（東京大学社会科学研究所准教授）

報告③「初等・中等教育における統計資料の活用」

椿 広計（日本学術会議連携会員、情報・システム研究機構統計数理研究所副所長・教授）

報告④「高等教育における統計教育」

美添泰人（日本学術会議連携会員、青山学院大学経済学部教授）

総括 津谷典子（日本学術会議第一部会員、慶應義塾大学経済学部教授）

質疑応答とフロア・ディスカッション

参加費：無料 定員：70名 事前予約無

問い合わせ先：野口晃弘（日本学術会議連携会員・名古屋大学教授）

email: noguchi@soec.nagoya-u.ac.jp